

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

金属プレス加工技術展

2012年4月18日(水)～21日(土)

2012

インテックス大阪

主催：社団法人日本金属プレス工業協会

運営：インターモールド振興会

出展のご案内

世界基準のモノづくり
プレス技術の進化がここに。

<http://intermold.jp/mp/>

開催概要

名 称	金属プレス加工技術展2012	前回大阪展(2010年)	40,283人(金属プレス加工技術展/INTERMOLD/金型展の合計)
会 期	2012年4月18日(水)～21日(土)	来 場 者 数	
開 場 時 間	10:00～17:00	予 想 来 場 者 数	45,000人(INTERMOLD2012/金型展2012を含む)
会 場	インテックス大阪(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)	入 場 料	1,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)
主 催	社団法人日本金属プレス工業協会	併 催 企 画	「基調講演」「特別講演会」 「出展者によるプレゼンテーションセミナー」ほか
運 営	インターモールド振興会	併 催 展	INTERMOLD 2012/金型展2012
公式サイト	http://intermold.jp/mp/		
協 賛	社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、社団法人日本金型工業会、型技術協会、財団法人素形材センター、社団法人日本産業機械工業会、社団法人日本ダイカスト協会、日本金属熱処理工業会、社団法人日本鋳造協会、社団法人日本鍛造協会、社団法人日本バルブ工業会、日本粉末冶金工業会、RP産業協会、社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、財団法人金型技術振興財団(順不同/申請予定)		

出展規程

■出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
一般	336,000円(税込) 320,000円(出展料金)+ 16,000円(消費税)	409,500円(税込) 390,000円(出展料金)+ 19,500円(消費税)
会員	315,000円(税込) 300,000円(出展料金)+ 15,000円(消費税) 社団法人日本金属プレス工業協会正会員のみ適用	388,500円(税込) 370,000円(出展料金)+ 18,500円(消費税)

■小間形態

小間の大きさ：間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9㎡)
形態：単列または複列を選択(※複列は4小間以上の出展に限りです)

■小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。

[Bタイプ設備内容](1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラベット
- カーペット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※電気使用料金は別途出展者の負担となります。

※受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。



(Bタイプ参考例)

■申込方法

- 1 出展申込書に必要事項をご記入・ご捺印の上、下記提出先に郵送、またはFAXでお申し込みください。なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカatalogを必ず郵送してください。
- 2 出展申込書裏面に主な出展規程を記載しておりますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。
- 3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。詳細は事務局までお問い合わせください。
- 4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

■申込書提出先

※郵送またはFAXにてお申し込み下さい。

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15(株式会社アイ・ティ・ビー内)
TEL:06-6944-9911 FAX:06-6944-9912

申込締切日

2011年11月30日(水)

※但し、満小間になり次第締切ります。

支払期日

2011年12月26日(月)

※事務局からの請求により、出展料金全額を指定の銀行口座にお振込みください。

主要スケジュール(予定)

出展申込 期限 2011年 11月30日(水)	出展料金 支払期限 2011年 12月26日(月)	出展者説明会 (大阪) 2012年 2月中旬予定	出展業務 手続き 2012年 2月中旬より順次	展示会場 搬入・装飾 2012年 4月15日(日)～ 17日(火)	金属プレス加工技術展 2012年4月18日(水) ▼ 2012年4月21日(土)	搬出・撤去 2012年 4月21日(土)17時 ▼ 4月22日(日)12時
--	--	---	--	--	--	--



※上記開催概要・スケジュールは2011年7月時点の予定であり、都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

出展対象

プレス加工機

サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、ファインブランピングプレス、深絞りプレス、粉末成型プレス、冷・温・熱間鍛造プレスなど

周辺機器

トランスファースystem、アンコイル・レベラ・ループ・フィーダーなど材料供給装置、ロボット・自動化システム、安全装置、その他関連機器

各種金属プレス成形サンプル

プレス金型・プレス金型部品

プレス加工事業者による技術PR



2010年 出展社一覧

金属プレス加工技術展2011ならびにINTERMOLD2011/金型展2011は、2011年4月に東京ビッグサイトにて開催を予定しておりましたが、同年3月に発生いたしました東日本大震災の影響により開催中止となりました

■国内出展社

金属プレス加工技術展

アイダエンジニアリング(株)、アクア化学(株) (株)カサタニ、協同組合京都府金属プレス工業会、(株)神村製作所、コマツ産機(株) (株)最上インクス、(株)阪口製作所、城山工業(株)、須河車体(株)、(株)セラ、(株)ゼロム、(株)そうぎょう タイメック(株)、(株)タイヨーアクリス (社)日本金属プレス工業協会、日本電産キョーリ(株) (株)樋口製作所、ヒルタ工業(株)、不二精工(株) (株)丸武部品、ミヤマ精工(株)、三吉工業(株)、(株)村元工作所、モルフィック(株) (株)山岡製作所

INTERMOLD

INSいわて金型研究会、(株)秋篠金型研究所、(株)旭プレジジョン、(株)アマダ、イースカルジャパン(株)、(株)イチグチ、伊藤忠マシンテクノス(株)、(株)イワサキ、(株)イワタツール、(株)いわて金型技研、インガソル・テグテックジャパン(株)、ヴェロ・ジャパン(株)、(株)宇部情報システム、(株)Aiソリューションズ、(株)エイト、エスオーエル(株)、(株)NTTデータエンジニアリングシステムズ、(株)MSTコーポレーション、オーエスジ(株)、オークマ(株)、オートデスク(株)、オープン・マインド・テクノロジーズ・ジャパン(株)、大石機械(株)、(株)オンワード技研 カールツァイス(株)、片倉工業(株)、(株)金型新聞社、(株)カナック、(株)カワタ、(株)関西石油製品販売、キャムタス(株)、倉敷機械(株)、クレアフォームジャパン(株)、(株)計算力学研究センター、(株)工業調査会、神津精機(株)、鋼板工業(株)、(株)小坂研究所、コダマコーポレーション(株) (株)齋藤金型製作所、(株)サンアイ精機、三和商工(株)、(株)C&Gシステムズ、(株)CAEソリューションズ、(株)CGTech、(株)ジーベックテクノロジー、(株)JSOL、(株)塩入製作所、システム・スリーアール日本(株)、次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)、清水電設工業(株)、(株)樹研工業、(株)シルバロイ、シンベンティブ・モールド・ソリューションズ(株)、(株)スギノマシン、ストーブリ(株)、(株)ストルツコーポレーション、(株)スリーエー産業、西部電機(株)、(株)セイロジャパン、(株)セスクワ、(株)ゼネテック、双和化成(株)、(株)ソディック、ソマックス(株) ダイジェット工業(株)、大昭和精機(株)、タイユ(株)、(株)田代鉄工所、(株)タンガロイ、千代田交易(株)、(有)ツールディスカバリー、ZOLLER Japan (株)、(有)塚原製作所、(株)データ・デザイン、DMG、(株)テクノクラーツ、テクノコート(株)、東京貿易テクノシステム(株)、東芝機械(株)、東洋研磨材工業(株)、(株)戸田精機 (株)ナガセインテグレックス、中日本炉工業(株)、浪速鉄工(株)、ナノコート・ティーエス(株)、(株)ナノソフト、(株)奈良情報システム、(株)日刊工業新聞社、日経BP社、日商精密光学(株)、日進工具(株)、日東工業(株)、日本製紙クレシア(株)、日本トムソン(株)、(社)日本自動車部品工業会、日本スピードショア(株)、日本精密機械工作(株)、日本特殊陶業(株)、ノガ・ジャパン(株) ハイウイン(株)、(株)橋本テクニカル工業、PCL(株)、日立ツール(株)、枚岡合金工具(株)、ファナック(株)、ファロー・ジャパン(株)、(株)不二製作所、富士ダイス(株)、ブラザー・スライプ・ジャパン(株)、ブラッシュ ウエルマン ジャパン(株)、(株)ブルームLMT、(株)ブロードリーフ マーボス(株)、(株)牧野プライス製作所、丸紅情報システム(株)、まねんプロジェクト、三井精機工業(株)、(株)三井ハイテック、(株)ミットヨ、三菱電機(株)、ミスター、ミルヒルジャパン(株)、(株)本山合金製作所、(株)森精機製作所 安田工業(株)、(株)ヤマシタワークス、(株)山本科学工具研究社、(株)ユーロテクノ、ユキワ精工(株)、ヨシカワメイル(株)、レニショー(株)

金型展

アイセル(株)、明石プラスチック工業(株)、イースタン技研(株)、(株)内山精工、(株)エナミ精機、遠州工業(株)、大垣精工(株)、沖繩県 岐阜精機工業(株)、キャンノンモールド(株)、(株)クリエイトダイス (株)サイベックコーポレーション、佐藤技研(株)、(株)三誘ファインツール、「次世代プレス金型研究所」(株)エルグード ウチダ製作所、(株)狸々精機、(株)新日本テック、(株)鈴木、(株)ソルテック (株)タカ、(株)タミーマンナリー、TSPプレジジョン(株)、(株)寺方工作所、友鉄工業(株) (株)長津製作所、日伸精機(株)、(社)日本金型工業会 (有)橋本工業、(株)藤岡製作所 (株)前田技研、(株)松野金型製作所、(株)三不二超硬 ユニオン精機(株)、淀川精機(株) (株)ワンロード

■海外出展社

金属プレス加工技術展

Pengfei Metal & Mold Co.,Ltd.(PressField Metal Products(Shenzhen) Co.,Ltd.), Schuler AG

INTERMOLD

BEILUN JULI EXATITUDE MOULD CO.,LTD., China Council for the Promotion of International Trade, Machinery Sub-Council, China Die & Mould Industry Association (CDMIA), Forwa Precise Plastic Mould Co.,Ltd.,HUNAN BOYUN-DONGFANG POWDER METALLURGY CO.,LTD.,HUNG-CHIEF STEEL MACHINE CO., LTD.,Jing Zhou Plastic Products (Shanghai) Co., Ltd.,KUNSHAN RONTEN M&D CO.,LTD.,LIP SHENG PRECISION (ZHUHAI) CO.,LTD.,Ningbo Jinlong Electric Appliance Co.,Ltd.,NINGBO SUNNY MOULD CO.,LTD.,Pinpotech mold & plastic(sz) co.,ltd.,Shanghai Jinlong Mould Manufacture Co., Ltd.,SHANGHAI TAILEKOM PRECISION MOULD CO.,LTD., Shenzhen Jinzhou Precision Technology Corp., TAI SLD INDUSTRIAL CO., LTD.,大連金型工業団地弁公室

金型展

ASPIC CO., LTD.,Bucheon Industry Promotion Foundation, BUKWANG TECHNOLOGY CO.,LTD.,D and E Co.,Ltd.,DAE SAN INDUSTRIAL CO., LTD., Demat GmbH, DOWON MOLD CO.,LTD., Dynacast(Singapore)Pte Ltd., Gwangju Association for Die & Mold Industry Development, ILBECOM CORPORATION, Insung Enpla Co., Ltd., IPEC High Precision, Inc., K2 LASER SYSTEM, Inc., Kae Sung Co.,Ltd., Korea Die & Mold Industry Cooperative, MODEL SOLUTION, SHIN WON PRECISION MOLD CO.,LTD., Sun Platech Co.,Ltd., TECHNORISE Co., Ltd, TLtek Co., Ltd.



2010年大阪 開催実績

金属プレス加工技術展2011ならびにINTERMOLD2011/金型展2011は、2011年4月に東京ビッグサイトにて開催を予定しておりましたが、同年3月に発生いたしました東日本大震災の影響により開催中止となりました

開催概要

※下記概要データは3展を合計

名 称 金属プレス加工技術展2010

併 催 展 INTERMOLD 2010(第21回 金型加工技術展)
金型展2010

会 期 2010年4月14日(水)～17日(土) 10:00～17:00

会 場 インテックス大阪(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)

出展規模 294社・団体 675小間

来場者数 40,283人

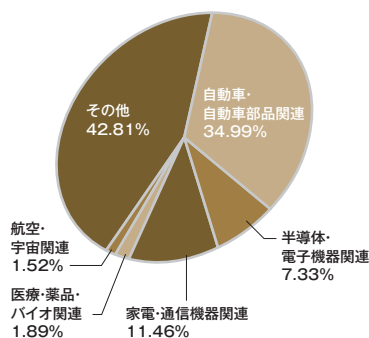
来場者数

	金属プレス加工技術展	INTERMOLD	金 型 展	合 計
4月14日(水) (晴れ)	642人	4,430人	845人	5,917人
4月15日(木) (曇り時々雨)	812人	7,305人	1,109人	9,226人
4月16日(金) (雨)	1,232人	7,974人	1,662人	10,868人
4月17日(土) (晴れ)	1,327人	10,943人	2,002人	14,272人
合 計	4,013人	30,652人	5,618人	40,283人

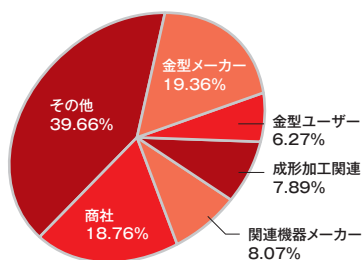
来場者業種分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

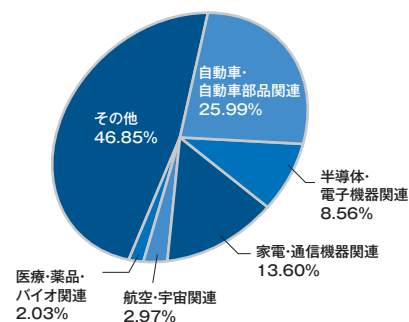
金属プレス加工技術展



INTERMOLD



金 型 展



来場者の地域分類

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

	北海道地区	東北地区	関東地区	中部地区	北陸地区	近畿地区	中国・四国地区	九州・沖縄地区	海 外	地区不明
金属プレス加工技術展	0.05%	0.37%	6.25%	18.29%	1.57%	65.41% うち大阪府内 43.46%	6.38%	1.37%	0.30%	0.00%
INTERMOLD	0.13%	0.65%	5.97%	13.97%	3.34%	64.51% うち大阪府内 33.81%	7.22%	0.99%	3.19%	0.02%
金 型 展	0.11%	0.52%	4.29%	12.82%	1.89%	72.52% うち大阪府内 45.02%	5.93%	1.23%	0.69%	0.02%

基調講演

「環境革新企業を目指したパナソニックのモノづくり」
パナソニック株式会社 役員 生産革新本部長 野村 剛 氏



特別講演会

「ものづくり再構築 -不況克服への鍵を探ろう-」

主催：社団法人日本金属プレス工業協会

コーディネータ：ファインテック株式会社 代表取締役社長 東京大学名誉教授 工学博士 中川 威雄 氏

講演1 「日本の素形材産業と日本のものづくり」
独立行政法人産業技術総合研究所 総括企画主幹 渡邊 政嘉 氏

講演2 「IT化が変える精密プレス加工工場」
株式会社JKB 代表取締役社長 平井 和夫 氏

講演3 「ライバルは“お客様の期待”+ Process Innovation への挑戦」
ホンダエンジニアリング株式会社 二・四・汎車体塑型部門 執行役員 田岡 秀樹 氏

講演4 「インド自動車産業と世界の低価格車動向」
東京大学 経済学部 ものづくり経営研究センター 特任研究員 伊藤 洋 氏

参考資料

【注意】 2011年4月の金属プレス加工技術展2011にて開催を予定しておりました併催企画を掲載しております。

基調講演

『Hondaが目指す
"カッコよくて凄く軽い"
車造りへの挑戦!!』
ホンダエンジニアリング株式会社
執行役員 車体領域執行責任者
田岡 秀樹氏

特別講演会

『グローバル化の中でのプレス技術の未来を探る』
コーディネータ：ファインテック株式会社 代表取締役社長 中川 威雄氏

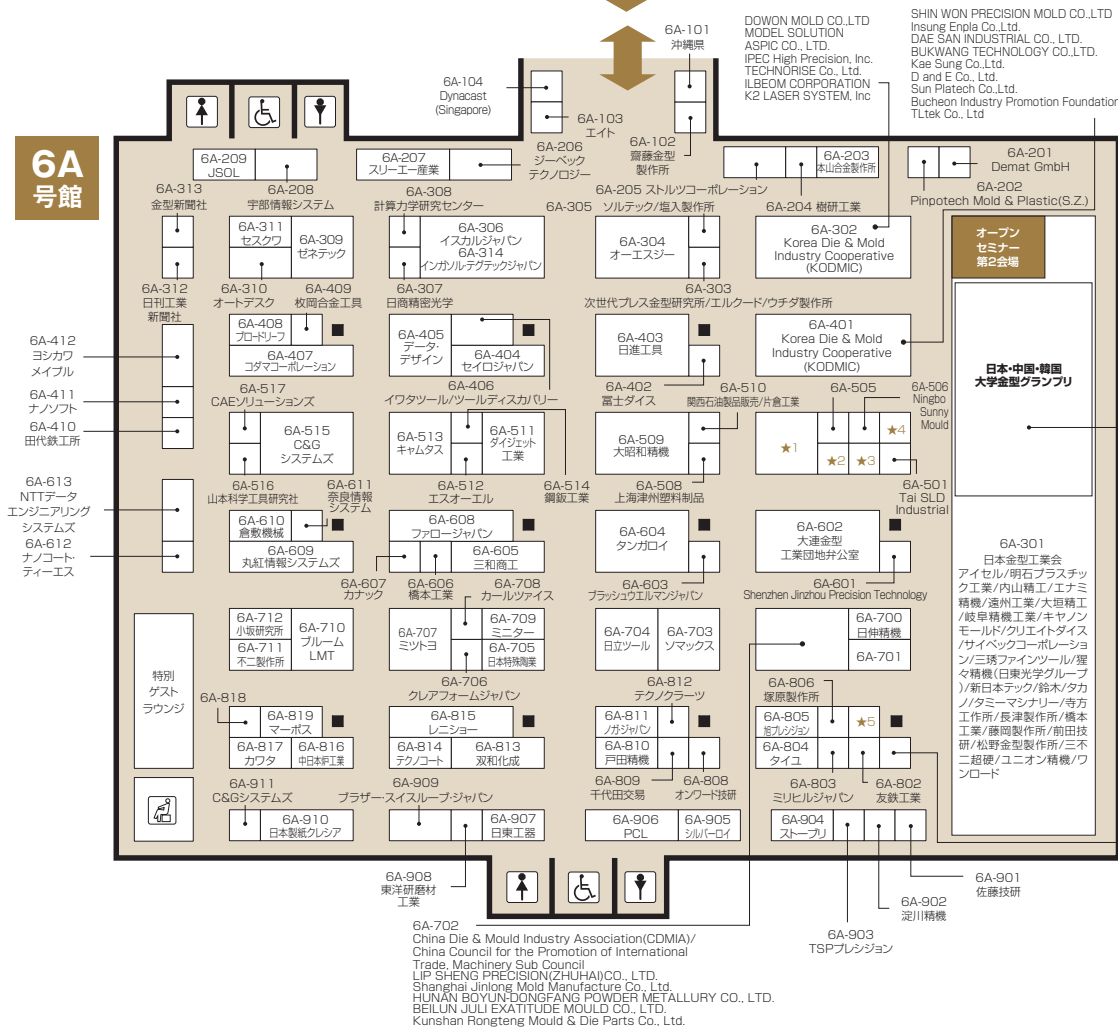
- 講演1 『トヨタ自動車の世界工場における金型供給体制』
トヨタ自動車株式会社 常務役員 川田 康夫氏
- 講演2 『日産自動車における電気自動車の開発と生産技術』
日産自動車株式会社 常務執行役員 加東 重明氏
- 講演3 『急速に発展・進化するインド自動車産業の実態』
東京大学 大学院経済学研究科 ものづくり経営研究センター 特任研究員 伊藤 洋氏
- 講演4 『金属プレス部品が切削加工品に置き換わっている?』
ファインテック株式会社 代表取締役社長 東京大学名誉教授 工学博士 中川 威雄氏

技術セミナー 『サーボプレスで実現するプレス加工技術』

- 講演1 『サーボプレスの特徴とその活用事例』
アイダエンジニアリング株式会社 営業技術部 松野 修一氏
- 講演2 『サーボプレスによる試作から量産までのモノづくり支援』
株式会社アマダ プレス事業部門 坂口 稔氏
- 講演3 『サーボプレス導入効果と加工上のポイント事例』
ホンダエンジニアリング株式会社 車体塑性技術部 廻 秀夫氏
- 講演4 『サーボプレス利用技術 加工事例』

6B
号館

6A
号館



【日本】岩手大学 大学院工学研究科、九州工業大学 情報工学部機械システム工学科、岐阜大学 金型創成技術研究センター、職業能力開発総合大学校東京校 生産機械システム技術科、大分県立短期大学校

【中国】大連工業大学、大連交通大学、天津輕工職業技術學院、常州機電職業技術學院

【韓国】ソウル産業大学校、韓国ポリテク大学、柳韓大学、公州大学校

★1
6A-504
Korea Die & Mold
Industry Cooperative
(KODMIC)
Gwangju Association
for Die & Mold Industry
Development

★2
6A-503
Shang Hai Tailekom
Precision Mould

★3
6A-502
シンペンティブモールディング
ソリューションズ

★4
6A-507
Ningbo
Jinlong
Electric
Appliance

★5
6A-807
Forwa Precise
Plastic Mould

6A-801
INSIわて金型研究会
生いゝ金型技研/社/アノ精機

広報PR活動(予定)

■広告掲載およびパブリシティの活用

- 日経産業新聞、日刊工業新聞、金型新聞など新聞広告を順次掲載
- 日経ものづくり、型技術、プレス技術など業界誌への広告掲載
- 金属プレス、金型、部品加工などの金属加工業界紙およびインターネットなど様々なメディアにパブリシティを掲載

■招待状・展示会案内パンフレットを発送

来場実績者への来場動員に加えて、併催展INTERMOLDの過去21年間の豊富なデータを元に、業界関係者の動員を図ります。
また、出展者には招待状・展示会案内パンフレットなどの来場動員ツールを無料で希望数提供いたします。

■ポスターの掲示

後援・協賛団体および関連業界団体を中心にポスターを配布し、開催告知を積極的に展開することにより、プレス加工メーカー、金型メーカー、部品加工事業者など関係者の動員を図ります。

■本展公式サイトとの相互リンク、製品検索画面への登録

本展公式サイトと相互リンクを張ることで出展者のホームページに効果的な誘導を行います。
また、製品検索画面の設置により展示製品や加工品などをPRしていただくことが可能です。

■事務局からの直接的来場促進

- 併催展も含めた開催告知、来場動員活動を積極的に展開。
- 来場実績者へのダイレクトメール(招待状・パンフレット)発送とメール配信。
- 自動車メーカー、サプライヤー、家電メーカー、情報通信機器メーカーなど、関連企業への電話による来場動員。招待状、パンフレット配布、ポスター掲出を依頼。
- 医療機器、医薬品、食料品メーカーなど、新たな重要ターゲット層として動員を強化。
- 航空機、宇宙産業分野の新企画を併催し、来場者層の拡充を図る。



広告



招待状



公式サイト



ポスター

特別講演会・技術セミナーの開催 主催:社団法人日本金属プレス工業協会

■金属プレス加工メーカー向けセミナーを開催

(社)日本金属プレス工業協会の主催によるセミナーを開講します。

金属プレス業界における最新トピックを取り上げることで、新技術に関心の高い来場者(ユーザー)の集客を見込みます。特別講演会では業界著名人を講師に招き、大手メーカーやユーザーの最新技術や業界動向などを発表していただきます。また、技術セミナーでは、金属プレス事業者・プレスユーザーとプレス加工機メーカーとのコラボレーションにより具体的な技術・設備の導入事例を交えたセミナーを行います。これらの参加者を展示会場に誘導することにより、出展者にとって意義の高いビジネスマッチング空間を創出します。

2010年実績

「ものづくり再構築 -不況克服への鍵を探ろう-」

コーディネーター: ファインテック株式会社 代表取締役社長 東京大学名誉教授 工学博士 中川 威雄 氏
日時: 2010年4月16日(金) 13:00~16:25

講演 1 13:00~13:40
「日本の素形材産業と日本のものづくり」
独立行政法人産業技術総合研究所 総括企画主幹 渡邊 政嘉 氏

講演 2 13:55~14:35
「IT 化が変える精密プレス加工工場」
株式会社JKB 代表取締役社長 平井 和夫 氏

講演 3 14:50~15:30
「ライバルは“お客様の期待”+ Process Innovation への挑戦」
ホンダエンジニアリング株式会社 二・四・汎車体塑型部門 執行役員 田岡 秀樹 氏

講演 4 15:45~16:25
「インド自動車産業と世界の低価格車動向」
東京大学 経済学部 ものづくり経営研究センター 特任研究員 伊藤 洋 氏



2011年

2011年4月の
金属プレス加工技術展2011にて
開催を予定しております併催企画を
掲載しております。

特別 講演会

『グローバル化する中でのプレス技術の将来を探る』

コーディネーター: ファインテック株式会社 代表取締役社長
東京大学名誉教授 工学博士 中川 威雄氏
日時: 2011年4月22日(金) 13:00~17:00(開場12:30~)
会場: 東京ビッグサイト 会議棟6F 会議室605・606 定員: 約250名 ※聴講無料

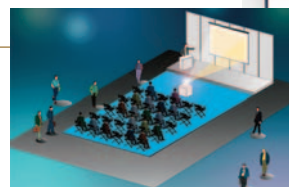
技術 セミナー

『サーボプレスで実現するプレス加工技術』
日時: 2011年4月21日(木) 13:00~16:40
会場: 東京ビッグサイト 会議棟6F 会議室605
定員: 約120名 ※聴講無料

※詳しくは「2010年大阪 開催実績」の参考資料をご覧ください。

出展者によるプレゼンテーションセミナー

出展者の展示効果をより一層高めるために、「出展者による新技術の発表」「製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できる「セミナースペース」(有料)を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込書のセミナー開講希望欄にご記入ください。なお、開講希望の出展者には、別途詳細を事務局よりご案内致します。



出展申込書

申込日： 年 月 日

裏面記載の出展規程を遵守することを承諾し、下記の通り出展を申し込みます。

〈1〉出展申込者

会社名	フリガナ	代表者	フリガナ
	和文		(氏名)
	英文		
本社所在地	〒	TEL	
		URL	http://

*本展示会ホームページにリンクするアドレスをご記入下さい。

〈2〉出展実務(連絡)担当者

住 所	〒	TEL	
所属部課	フリガナ	FAX	
役 職	氏名	E-mail	

〈3〉出展申込小間数および出展料金

	Aタイプ		Bタイプ		出展料金 (①×②)	支払予定期日
	小間単価 ①	申込小間数 ②	小間単価 ①	申込小間数 ②		
一 般	336,000円(税込) 320,000円出展料金+16,000円消費税	小間	409,500円(税込) 390,000円出展料金+19,500円消費税	小間	¥ (税込)	年 月 日
会 員	315,000円(税込) 300,000円出展料金+15,000円消費税	小間	388,500円(税込) 370,000円出展料金+18,500円消費税	小間		
*会員価格は、(社)日本金属プレス工業協会の正会員のみに適用されます。						

〈4〉小間形態の希望 *4小間以上の場合のみご記入下さい。

☐ 単列	☐ 複列
-----------------------------	-----------------------------

〈5〉セミナー開講希望(有料) *別途正式なセミナー開講申込書をご提出いただきます。

出展者によるプレゼンテーションセミナーの開講を予定・検討している場合は V印をご記入下さい。	☐ 開講を希望します
---	-----------------------------------

〈6〉主な出展物および製造業者名 *新規出展の場合は、会社案内と出展製品のカタログを必ず添付して下さい。

出展物	会社名	生産国名

〈7〉上記内容より主要製品ジャンルをご記入下さい。*会場レイアウトの参考とさせていただきます。

(例) プレス加工機、金型

〈8〉連絡欄

--

事務局使用欄

受 付	請求内容	請求書No.	請 求 日	入 金 日	1	2	3
受 付 日	出展料金				4	5	6
受付番号					7	8	9

主な出展規程

1. 出展料金の請求と支払い

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出展料金の請求書を送付します。これに基づき、出展者は、2011年12月26日(月)までに出展料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込のみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出展料金を含め本展示会に関する全ての請求についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展契約の成立時期

出展申込書に基づく出展契約の成立時期は、申込日に拘わらず事務局が出展申込書を郵便又はFAXで受け取った時点とします。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

(1) 出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得て下さい。

(2) 出展申込締切日の翌日(2011年12月1日)以降、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2011年12月1日～2011年12月31日	出展料金の50%
2012年 1月1日～2012年 1月31日	出展料金の75%
2012年 2月1日以降	出展料金の100%

(3) 出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。

(4) 事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出展料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用する事ができるものとします。

① 2011年12月26日(月)までに出展料金を完納しない場合

② 事前申告なしに搬入日の2012年4月17日12時までに小間の使用を開始しない場合

③ 出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

(1) 小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、出展者説明会時に通知します。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。

(2) 主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出展料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾に関する規制と撤去・搬出

(1) 小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期限内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。

(2) いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更に同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。

(3) 事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出展料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催の変更・中止

(1) 主催者は、天災、その他の不可抗力により会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、これによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。なお、展示会開催を事前に中止した時は、既納出展料金より既発生費用を控除した残額の一部を返金します。

(2) 出展申込みは、変更された会期等について有効とし、会期変更などを理由として出展を取消することはできません。

11. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。